

第6章 IGAS 2007 展示会の特徴と注目された商品及び

枚葉印刷機部会各社展示製品の紹介

本章では、2007年9月21日(金)から27日(木)まで、東京ビッグサイト東西全ホールを使用して開催されたIGAS2007の枚葉印刷機関連の出展内容について、その展示概要と開催期間中に発行されたディリーニュース「IGAS LIVE」等掲載の製品紹介を抜粋して転載する。

6.1 展示会期間と規模

IGAS 2007 / プリントメディアの未来 - 信頼と進化					
2007/ 9/ 21~27		東京ビッグサイト			
出品社	550社	4,810		出品小間	
会期中の来場者		130,164人			
海外来場者		12,853人			
地域	国数	来場者	地域	国数	来場者
アジア	18	9,573	大洋州	4	274
北米	2	412	中東	10	239
中南米	10	529	アフリカ	4	12
欧州	18	1,794	不明		

6.2 展示概要

6.2.1 展示会の全体概要

- ・各印刷機メーカーは揃って『高品位化』『高付加価値化』『高速化』『高生産性化』『環境にやさしく』『コストダウン』を提案。付加価値の創造、省スペース、時間短縮、環境といったテーマに取り組んでいた。
- ・ユーザーニーズに直結した展示。全印工連の「5 Doors」対応した展示内容とデモ。
- ・Anicolorインキ供給装置を搭載した印刷機。
- ・DIオフセット印刷機の出展は2社。
- ・電子写真方式の上級機は品質アップし、トナー粒子径の微小化やトナーによる光沢処理などを実現。
- ・Ink-Jet は、輪転方式が増加傾向。

6.2.2 高付加価値と付帯機器

- ・表面加工は当たり前の時代。
- ・新しい高付加価値印刷の提案。
高精細カラー、レンチキュラー、ホログラム加工、UV インラインコーールドフォイルシステム搭載、4色刷り広演色印刷。

6.2.3 メイクレディー短縮

- ・自己学習機能を利用した刷りだしシステム
(リムービング、プリセット、自己診断・リモート診断) とスマート・シーケンス。

- ・全自動刷版交換装置での全色同時版交換装置

6.2.4 品質管理

- ・カラーパッチなしで濃度合せ作業を自動化

絵柄全体を検出比較する方式で、プリプレス画像データから印刷目標値を設定、機上のセンサで検出した画像との比較評価。

6.2.5 ワークフロー

- ・各社、JDF 接続し、プリプレスからポストプレスまでの生産効率を高めるシステム。
- ・実際のビジネスを想定したバリエブル印刷を提案し、ポストプレスまで含めたフロー。

6.2.6 特長ある展示内容

- ・印刷コラボレーション展で印刷会社の新技術展示が多数あり。高付加価値内容多い。商品化はこれからの印象。
- ・POD は、One To One ビジネスを支援するバリエブル印刷のソリューション構築、それに付随するデータベースや WEB との連携に絞っていく方向。
- ・各社ベンダー同士のアライアンスとユーザーを巻き込んだ成功事例紹介・後加工など。
- ・ポータルで受注しアルバム作成をユーザーとタイアップして展示。
- ・ユーザーがアルバム製本のコストと加工性を考えた優れた商材を開発。
- ・プリンター関連メーカーによる本格的な印刷分野へのアプローチがみられた。ランニングコスト、スピードなどが課題である。

6.3 ディリーニュース「IGAS LIVE」掲載の製品紹介抜粋 (50音・アルファベット順、文責：メーカー)

<アキヤマインターナショナル 株式会社>

経営理念である「全ての顧客の持続的成功を！」を、“進化”というテーマで提案。

(1) MEGA Jprint 5p540DC+RF (ロールフィーダー搭載 菊全判両面5/5色印刷機 両面コーター仕様)

- 両面印刷機のスタンダードとして誇るJprintが、最高印刷速度を15,000枚/時（菊全判4/4色機の場合）にパワーアップ。
- MEGA Jprintの給紙部には、ロール紙を給紙できるロールフィーダーを搭載、また印刷後にインラインでコーティングが可能な両面コーターを搭載。
- ロールフィーダーを使えば、枚葉紙だけでなく用紙代が安価なロール紙の給紙も可能。しかも、天地長を1mm単位で設定できるから、用紙のムダも防ぐ。
- 片面機では一般的であったインラインコーティングユニットを、印刷終了後に両面コーターユニットとして搭載。スプレー粉を大幅に削減することを実現。また、キズ・コスレ対策にも優れ棒積みが可能、印刷後、短時間で次工程へ回すことが可能となる。

(2) SUPERTECH440 (菊全判片面4色印刷機)

- 片面機のヒット版Bestechが、最高印刷速度を16,500枚/時にパワーアップし、またJprint、eXtremeで培ったノウハウと機能を多数搭載して、SUPERTECHとしてデビュー。
- Bestech特有の圧胴に3倍胴径、中間胴に4倍胴径を採用、3・4・3というユニークな胴配列の省スペース設計を継承しており、Bestechとほぼ同じ最小のスペースに設置が可能。
- このオリジナルの3・4・3の胴配列機構は、最少の用紙受け渡し回数（4色刷で4回）で印刷するので、見当精度に優れ、また1色目が完全に刷り終わってから2色目の印刷を行うので、胴間での印刷障害が

ない。

- D. 薄紙から厚紙まで印刷が可能な汎用機で、ベタ刷り適性に優れ、また厚紙印刷にも適した印刷機。
- E. フィーダー部には新開発したエア式横針を標準搭載しているため、厚紙でも針キズが入る恐れがない。
- F. 各種スイッチやカバーの場所や形状を見直し、ユニット間を広くしたので、オペレーターの作業性が向上。

(3) eXtreme540CL (菊全判片面5色印刷機コーターロングデリバリー仕様)

- A. Drupa2004でデビューした次世代型片面印刷機を、多機能型片面機として展示。
- B. eXtremeは完全ユニット設計・生産方式を取っているため、インターデッキをあらゆるユニット間に設置が可能。印刷原反を選ばず、お客様の様々な要望に応えられる多機能型片面印刷機。さらに、リニューアルした新型ACC (Akiyama Color Control : オペレーションスタンド) も発表。インキ供給のキーモータの制御精度を向上させ、入力した数値が瞬時に印刷機のキーに反映される。また、各種トラブルシューティング機能やメンテナンス事前通知機能も装備、さらに、モニタにタッチパネルを採用。CIP4には対応しているが、今回はアキヤマ独自の簡易MIS (Management Information System) を開発、標準搭載。

<株式会社 アルファー技研>

新製品インキディスペンサーID-FXの展示

従来比2倍以上の吐出スピード 短納期・小ロットのニーズに応える

インキ抽出装置「インキディスペンサー」は、市販の1kgインキ缶が使用できる特色調合機として人気を集め、全国に約300台以上を導入している。新製品の「インキディスペンサーID-FX」は新型モータと独自設計の変速機構で従来機比2倍以上の効率アップを実現し、1kgを最短5分で吐出する。インキ装填数は10缶、バルブごと取り外し、組み合わせは随時変更可能、吐出精度±0.02g以内。最小吐出量1g、最大作成量6kg以内(オプションの6kgハカリを使用の場合)、油性インキ、UVインキの構成変更が随時可能な構造で、CCMとの連携を標準サポートし、振動ミキサーとの連携のためのツール缶仕様を追加することができる。

小ロット物でインキも少量をハイスピードに調色するため生産性効率が高く、短納期にマッチしている。少量でも扱えることから常にフレッシュなインキが使える、ムダなインキを使用しなくてよい。コンパクトな設計で工場内のスペースも少なく済み、従来、残インキを保管する場所を確保していたが、残インキを残すことなく、コスト面、保管スペースなどの利点がある。短納期で小ロット印刷にも威力を発揮する。

[インキディスペンサーID-FX/仕様]

- ・使用インキ 1kg缶入油性およびUV (オプション)
- ・インキ補填数 10缶 (バルブごと取り外し、組合せは随時変更可能)
- ・吐出精度 ±0.02グラム以内 (1g計量に対して)
- ・最小吐出量 1グラム
- ・最大作成量 6kg以内 (オプション)
- ・機械寸法 W700×D800×H1500mm (専用台含む)
- ・付属品 ピストン一体型バルブ (油性インキ用) ×10個、2kg電子ハカリ (単位1/100グラム)

・オプション UV インキ用バルブベース、トール缶仕様、6 kg電子ハカリ他
今回のIGASは、新製品の「インキディスペンサーID-FX」の他、
CCMソフトVカラー2006a7、スピンミキサーMS1000を出品。

<株式会社 光文堂>

印刷業界が抱える高品質、短納期、低コスト、環境問題、印刷物の高付加価値化の課題に対応したソリューションの提案

ITと周辺機器で生産支援 品質・短納期などソリューション

・品質向上へのソリューション

印刷品質管理システム「KBD クォリティーレポーター」を展示。KBD クォリティーレポーターは、カラーバーを測定するだけで濃度、ドットゲイン、トラツピングなど色管理に必要な様々なデータを抽出、報告書として出力することができる。このほか、印刷機のインキキーのゾーンごとに濃度差を表示できるので、作業者の色調整作業が簡素化する。

・短納期対策としてIR乾燥装置「ファーストドライ」を提案

枚葉印刷機における刷了紙の乾燥待ちによる製品の滞留時間短縮、後加工までの流れを円滑化した。

・低コスト対策として「KBD EPLEX」を提案

KBD EPLEXは既存の印刷機のままで印刷システムのCIP3化を実現し、損紙の大幅な削減と印刷準備時間の短縮を可能にした。

・環境対策として新製品の「KBD エコループ」を紹介

従来の金属を使用したリング製品に対し、リング部分に紙を使用することで、環境に優しい印刷製品製作を支援。リング部分が紙であるため、廃棄の際に分別する必要がなく、資源としてリサイクルすることが可能。卓上カレンダー作成を実演。

・高付加価値化対策としては、印刷機上で箔の印刷を可能にするインライン箔印刷装置を参考出品した。

この装置は印刷機の印刷ユニットを使用してインラインでの箔の印刷を可能としたもので、生産性向上と高付加価値化を両立させる。箔印刷を行わない時には、通常の印刷ユニットとして使用できる。最大の特徴は、ほとんどの枚葉印刷機に取り付けが可能なことで、スピードを落とさずに印刷でき、箔の上から通常のインキで印刷できるので様々な色の箔が表現できる。

・このほかシール・ラベル印刷業界向けのソリューションとして「レタープレス・フレキソ用検版機」、

「レタープレス・フレキソ用 CCD カメラ付自動版貼り機」を発表。

また、情報漏洩防止の新製品として「KBD プレートシュレッダー I 型、II 型」を出品。

<株式会社 小森コーポレーション>

4つのプリントゾーンと、デジタルネットワークゾーンで最適なソリューションを紹介

メインテーマ「freedom of impression」、サブテーマ「5 Solutions by KOMORI」

全日本印刷工業組合連合会から発表された「5 Doors」に対して、その実現を支援するための「5 Solutions」を掲げ、新商品2機種を含む9機種の印刷機を出品。また、KHS-AIをはじめとする新システムを発表した。

Solution 1 Super Customized Solution

コールドフォイルシステム、UVコーター、インラインダイカッターなどカスタマイズ。

- *リスロンS44 新商品 四六全判機で最高の印刷速度15,000回転で、高付加価値印刷。
- *「薄紙での高速安定稼働、切替え時間の短縮、厚紙での高付加価値印刷対応」を開発コンセプトに、最先端のテクノロジーとノウハウにより開発。
- *リスロン SX29 新商品 KOMORI コールドフォイルシステムを搭載、国際サイズ機。
パッケージ・ラベル市場のニーズに対して、新たにリスロン SX29 を開発。当展示会では、インラインで箔押しをおこなう KOMORI コールドフォイルシステムを搭載し、リスロン S29 の上位機種として初公開した。リスロン SX29 は、印刷品質・紙厚適性などの基本性能向上や特別仕様の再構築など、高付加価値印刷の適正をさらに向上させている。

Solution 2 One Pass High Productivity Solution

高品質・高生産性・短納期の3大ニーズをワンパス機（反転機・両面専用機）が実現。

- *システム35S コモリハイパーシステムKHS-AIによるシングル段取り。
- *リスロンS40P 両面印刷15,000回転とキズ・コスレのない印刷品質。
- *リスロンS40SP 片面機の2～3倍の生産性と印刷品質。

Solution 3 Super Make-ready Solution

スーパーメイクレディが極小ロット・短納期対応を可能に。新システムであるスマート・シーケンス、スマート・フィードバックを初めて披露。

- *リスロンS40 KHS-AIによるスーパーメイクレディ。
- *リスロンS26 毎時10JOB×200枚の印刷を可能とする世界最速のスーパーメイクレディ。

Solution 4 Flexible Multi Print Solution

小回りのきくマルチプレーヤが多様化する印刷ニーズに対応。

- *SPICA29P-W 広演色・カレイドの実演。B4の4面付、B5の8面付に対応するワイド機。
- *スプリント GS デジタル化・自動化機能を装備した小回りのきく多機能機。

Solution 5 Fully Digital Solution

DoNetゾーンではプリプレス、ポストプレス等のメーカーとのコラボレーションを展開。

- *CIP4/JDFを活用した印刷データや生産管理情報などのリアルタイムな一元管理、カラーマネジメントを紹介。
- *CIP4国際協力機構の「2007年CIPPIアワード」の『プロセス自動化技術を最も革新的に活用した事例部門賞』の日本で初めての受賞に輝いた株式会社ダイムの導入事例も紹介。

<株式会社 桜井グラフィックシステムズ>

“Think&Shift～すべてはお客様とともに～”で、現代の加速度的に変化する印刷ビジネスにおいて、印刷会社様の利益に適うご提案をソフト、ハード両面よりご提案、実演。

印刷業界の業態変革のススメとして、次の3つの取組みを提案。

1. セールスプロモーションのススメ

クライアントニーズを汲み取り、最適な企画制作を行うためには、まず印刷営業に携わっている担当者の育成が大前提であり、今注目されているプロモーションalマーケターの育成を推進する提案。

2. 制作OEMのススメ

実際の企画制作におけるサクライ・エスパス、フォト・コンテンツ・配信サービスを利用した取組みの提案。今回より幅広いフォトコンテンツを簡単にかつ廉価で利用できるようにすると共に印刷物の最

最終的な企画制作を完了するまでの作業を代行する事までを含めた、印刷会社から総合企画デザイン会社への変革のご提案を行った。

3. 環境に優しい水なし印刷への取組み

環境問題への取組みの一つとして水なし印刷を提案。

日本WPA（日本水なし印刷協会）・東レブースに水なし印刷仕様機オリバー**466SD**を出展。新開発の**W2**インキ、**W3**洗浄液を使用した**VOC**（揮発性有機化合物）ゼロ印刷を実演。

こうした印刷業界と共に歩んで行く総合提案型企業「サクライ」をテーマに幅広い客層へ多彩なご利用をご紹介出来るように当社各サイズ主要製品を展示、実演を繰り返し広げた。

主な出展機器

(1) OLIVER-596SD

2007年3月に発表したサクライ初となる大型SDシリーズ オリバー**496SD**に続くシリーズ第2弾となる菊全判5色印刷機オリバー**596SD**を新発表。

- ①960mmサイズ採用による高いコストパフォーマンスの実現
- ②最先端自動化装備完全搭載によるワンマンオペレーティングの実現
- ③本格重厚構造はそのままに、シリーズ共有化による経済的価格を実現
- ④省スペース設計によるスペースの有効活用

(2) OLIVER-575SDC

高付加価値印刷による差別化のご提案として、**B2**判ワイド5色印刷機インラインコーター付（UV印刷仕様）オリバー**575SDC**を出展。UVコーターを活かした紙以外の素材への高付加価値印刷の実演。

(3) S-PAS+OLIVER-466SDP

新サービスを付加したフォトコンテンツ配信サービスSakurai S-PASによるデザイン作りから菊半裁4色両面兼用機オリバー**466SDP**による総合印刷ワークフローを実演。

(4) 全自動スクリーン印刷機 MS-102SD

枚葉オフセット印刷機メーカーであるサクライは同時にオフセット印刷物に様々な付加価値印刷を加える事が出来る全自動スクリーン印刷機を製造している。今回展示実演した、マエストロ102SD+低温型高効率UV乾燥機UV-102Nの一体ラインにより、スクリーン印刷の特徴である見る人へよりアピールする印刷物への変身をご紹介した。

<株式会社 篠原鐵工所>

目的や用途に即応できる高精度・高性能・低コストのマシンを開発

中・小型オフセット印刷機の付加価値やキャパシティの拡大と、世界初公開となる菊全判の最新鋭機種を展示。

1. 「SHINOHARA109 VH+UVニスコーター」

世界初公開となる菊全判ワイドタイプ5色機を展示。紙搬送部を全て倍胴で構成し、薄紙から厚紙までマルチに対応。このクラス最大の用紙サイズと有効絵柄面積を実現。

会場ではUVニスマルチカラー印刷、擬似エンボスなどの印刷実演。

2. 「SHINOHARA52 VH+ダイカット」

パッケージの印刷や少ロット印刷に最適な52シリーズで付加価値印刷。ニスコーター部にダイカット装置を取り付け、インラインで印刷から型抜きの実演。

3. 「SHINOHARA66IV」

セミハイパイル菊半裁4色機の圧胴を従来までの単胴から倍胴化。印刷機の重要部分である圧胴を倍径化し、能力を向上。印刷用紙にストレスを与えず、見当精度も向上。ショック目などの印刷トラブルを解消し、薄紙から厚紙まで紙厚を問わないスムーズな印刷を可能に。また、湿し水・インキ・刷版・印刷用紙など、環境に配慮したECO印刷も提案。

4. 「SHINOHARA79IVHP」

菊半裁ワイドタイプ4色（片面/両面兼用機）の展示実演。

刷版自動交換装置をセミオートからフルオートにグレードアップ。素早いJOB交換で効率の良い印刷作業の実演。

印刷作業のスピードアップとオペレーション省力化。マシンの稼働率の向上など、スムーズな印刷作業工程を実現。

<ハマダ印刷機械 株式会社>

付加価値・差別化で印刷に革命を！

今後ますます進展すると予想される同質化競争に対する回避策を、差別化が実現できる印刷システムの提案と、豊富な導入事例と経験により裏打ちされた提案といった、ハード・ソフト両面で提案。

(1) 封筒専用印刷機『EV-Master』（新製品）

封筒印刷に専門特化した4色オフセット印刷機。従来の小型印刷機を使った封筒印刷の概念を大きく変える数々の封筒専門仕様を装備。

封筒印刷におけるネックであった① 段取り変え時間の低減、②操作性の向上、③生産性向上に向けての解決提案を盛り込んだ新しいコンセプトの印刷機。

(2) B452Mark II

A3カラー印刷市場に対応する①素早い立ち上がり、②コンパクトな設置スペース、③使いやすさ・操作性を重視し、小回りの効く小型4色機。

今回、操作性の更なる向上をはかるため操作パネルの位置の変更、デザイン面での向上を図るためカバーデザインの一部変更を行い、マイナーチェンジを行った機械を出展。

(3) Duetto III（2段給紙搭載機）

環境配慮と生産性向上、加えて操作性の向上を望むお客様のご要望に対し、情報収集を行った結果として商品化されたDuetto III。

ユニークな2段給紙という上下段のユニットを持つDuetto IIIは、2段給紙上部にて調整用紙を使い、損紙を削減した環境配慮型印刷や、合紙を挿入した印刷など用途による使い分けができる。

(4) SAC-18（A3ワイド判UVニスコーター機）

（廣瀬鉄工ブースにて出展）

ニスコーター機について強みを持つ廣瀬鉄工と、当社の給紙・排紙を組み合わせることで、両社の強みを融合させた小型のニスコーター機を廣瀬鉄工ブースにて出展。

従来大型機しかなかったUVニスコーティング機に、小型でありながら本格的な仕様を具備したUVニスコーターは国内では初めての製品。

<三菱重工業 株式会社>

7年ぶりにフルモデルチェンジした菊全判枚葉印刷機“DIAMOND 304”2台を筆頭に展示
“Styling”、“Performance”そして“Friendly”の3つの視点から、新世代の枚葉印刷機のあるべき
姿を追求した“DIAMONDシリーズ”の第1弾として、菊全判4色機“DIAMOND 304”を発表。

DIAMONDシリーズ”は、多品種・小部数化を前提とした枚葉印刷の生産現場で、いかにして実生産性
の向上を図るかをメインテーマとして、“機械的要因による機械停止時間をミニマム化して、実稼働
時間を拡大する”と同時に“使い易さ、安全性などオペレーションの環境改善も極める”ことを大き
なテーマとして捉え、80箇所以上の機構や装置に改善や改良を行い、外観や操作パネルのデザインも
一新。

三菱独自のワンパス両面枚葉印刷機、タンデムパーフェクターNew DAIYA 308TP

三菱重工独自の機構を有する、菊全判表4色・裏4色刷のタンデムパーフェクターNew DAIYA 308TP
にUV乾燥装置を搭載して出展、UV印刷による即乾印刷の効果を実証。

また、ジョブチェンジを交えた印刷実演では、同位相版交換装置と全自動刷版交換装置の組合せで(オ
プション)、1色分の版交換時間で全色(8色分)の版交換作業を行いジョブチェンジ時間の早さと、
絵柄計測の品質管理装置MCCS-Vによる簡易化された両面刷印刷物の色合せ作業を実施。

新色調整インターフェース DIAMOND Color Navigator

新装置としては、全色同時全自動版交換装置、DIAMOND Color Navigatorなども搭載して色合せ作
業のレススキル化を実現する色調整インターフェース装置。

本装置は、特別なスキルが無くても“この部分”を“赤くしたい”、“青くしたい”、“濃くしたい”、
“薄くしたい”などのように、人間の見た目の感覚に即した指示で、タッチモニタから簡単に、かつ
正確に色調整を行うことができ、従来のような煩雑なインキキー操作を一切不要にしたシステム。

全色同時全自動版交換装置

通常枚葉印刷機では、印刷障害の発生を回避するため各色のシリンダ位相をずらして運転している。
そのため、版交換時には、1ユニットずつ順番に版交換を行い、版交換に時間がかかっていた。その解
決法として、印刷運転時の位相は従来通りで、機械停止時に、各色のシリンダ位相を同位置にする同
位相版交換装置を開発し、新開発の全自動刷版交換装置と合体することで、全色の版交換を1色分の交
換時間で完了することができるようにした。

<理想科学工業 株式会社>

モノカラー・2カラー・フルカラーの「小ロット印刷」処理機器として展示

カラープリンターオフィスシリーズの新製品「ORPHIS HC5500A ISモデル」はスキャナ、タッチ
パネル、HC中とじフィニッシャーと連結させたシステム構成で展示

1. ORPHIS HC5500A 「ISモデル」フルシステム(フルカラー)

フルカラー(インクジェット方式)120枚/分でページ物、小冊子等を出力サンプルの展示と共にデ
モンストレーション。

2. ORPHIS HC5500A 「ISモデル」オフセットスタッカー付

マルチプリントイン(株田中印刷発売ソフト)を使用した封筒・4面ハガキ・認定証のバリエブル印
刷をインクジェット方式のスピードとランニングコストをデモンストレーション。

3. RISOGRAPH MZ970(2カラー)

小ロット印刷、簡易チラシ、賞状、レザック等の2色印刷を展示サンプルと共に実演。

4. RISOGRAPH RZ977(モノカラー)

一般小ロット印刷、ページ物、封筒、ハガキ等のモノカラー印刷を展示サンプルと共に実演。「ORPHIS HC5500A IS モデル」は、A3 サイズの世界最速カラープリンタ ORPHIS HC5500A のバリエーションの機能が強化されたモデル。また、プリントジョブの管理や活用面で性能向上を図った。

IS モデルは、データ処理を高速化したプリントコントローラーを搭載し、顧客情報に合わせた DM 内容の差し替えや、案内状の宛名印刷など、1 ページずつデータを替えてプリントするバリエーションへの適性が向上。「ワン・トゥ・ワン」マーケティングをサポートする DM などの作成が効率化する。

ジョブ管理面では、画像生成処理 (RIP) 済みのデータ (アーカイブジョブ) を保存しておき、いつでもすぐに再出力できる機能を追加した。再出力の際は、データの RIP 展開処理が不要であり、出力時間の短縮が可能。印刷データの画面を見ながら操作できる。

新たに搭載したプリントコントローラーは、大容量のデータを高速で RIP 演算するため、頁数の多い仕事を高速処理する。アドビ、ポストスクリプト 3 インタプリタを搭載し、PS データに対応。フォントの追加ダウンロードも可能になっている。1000BASE-T の高速ネットワークもサポートし、幅広いネットワーク環境で使うことができる。

基本機能は、ORPHIS HC5500A と同等。プリント速度が片面 120 枚/分、両面 48 枚/分でオフィス用カラープリンタとして世界最速。用紙対応も厚さ 210 g/m² 迄の厚紙や封筒印字を可能にした。セキュリティ面でも送信データの SSL による暗号化やデータプリントを暗証番号入力で許可するセキュリティプリント機能など文書管理上のセキュリティ面を強化している。

IGAS2007 では、2 色デジタル印刷機の「RISOGRAPH MZ970」、単色デジタル印刷機の「RISOGRAPH RZ977」も出展し、小ロット・短納期の端物印刷をハイスピード&ローコストで実現することが出来る機器を展示。

<リョービ株式会社>

Smart Printing Solutions ～これからの印刷会社の最適なビジネスシステムの提案～ を

テーマとして、印刷機、印刷周辺機器、ソフトウェア、各種システムを、デジタルワークフローシステム「RYOBI Smart Net」を総称として、ユーザーニーズに最適に適應するシステム、ソリューションを提案する。

出展機種 [印刷機]

(1) RYOBI 925 (A 全判 5 色印刷機)

環境対応 (無処理版実演、環境対応印刷諸資材の使用、省エネ&省スペース設計)

印刷資材の省コスト化 (刷版サイズ、紙サイズ) の提案

(2) RYOBI 758 P (B2 判 8 色印刷機 反転装置付、インターデッキ / 排紙部 UV 乾燥装置付)

超短納期対応 (UV 印刷による高生産性、小ロット・多品種印刷、全自動刷版交換装置の提案)

高い印刷品質 (UV、両面印刷での表裏の印刷品質に差がないことを実演)

(3) RYOBI 755 (B2 判 5 色印刷機、インライン UV キャスティングシステム付)

豊富な印刷表現の実演 (ホログラム加工の実演、ホログラムと従来の高付加価値印刷との切替えも可能) インライン化による短納期、省スペース、低コストの実現

(4) RYOBI 784EP (B2判4色印刷機) / RYOBI 782E (B2判2色印刷機)

環境対応(無処理版実演、環境対応印刷諸資材の使用、省エネ&省スペースを訴求)

(5) RYOBI 3404X-DI (ダイレクトイメージング装置内蔵A3判4色印刷機)

広演色印刷の実演、プレスサイドプルーフ(参考出品)を用いたモニタプルーフニングによるRGBワークフローの提案

(6) RYOBI 524GX (菊四裁寸延び4色印刷機)

広演色印刷の実演、プレスサイドプルーフ(参考出品)を用いたモニタプルーフニングによるRGBワークフローの提案

(7) RYOBI 3304HA (A3判4色印刷機)

(8) A3判自動両面オフセット印刷機 RYOBI 3200PCX

シルバーデジプレートによる高精細モノクロ両面印刷の提案

[印刷周辺機器]

RYOBI PDS / RYOBI PDS-E Spectro AUTO (印刷濃度管理システム)

[ソフトウェア]

RYOBI Print Job Manager (印刷機稼働管理システム)

印刷機の稼働を管理、分析することによる生産性向上を支援する装置の提案

<ディック・マンローランド 株式会社>

中型機のスタンダード、ローランド 700に準備時間を画期的に短縮するダイレクトドライブ搭載

1. ローランド 700 次世代テクノロジー

世界で初めて枚葉機に単独駆動を搭載した、ローランド 700 ダイレクトドライブ。

2. ローランド 700 ダイレクトドライブの開発コンセプト

マン・ローランドが「徹底した準備時間の短縮」をゴールに研究開発を重ね実現させた革命的システムが、ダイレクトドライブ。それにより、本稼働時間を大幅に増加させ利益を最大化することができる。

2004年のdrupaでのユニット展示後、2005年よりのドイツ国内3社、オランダ1社でのフィールドテストを経て、本年3月、マン・ローランド本社(ドイツ、オッフエンバッハ)において、世界各国の印刷会社様を招いてのダイレクトドライブショーが行われましたが、機材展の実演ショーとしては、IGAS2007が世界デビュー。

3. ダイレクトドライブの技術概要

ローランド 700 ダイレクトドライブは版胴を単独駆動させるモータと2枚のギア、2つのクラッチシステムで構成されている。このシステムにより、以下の4つのクラッチファンクションが可能。

①インキングユニットはメインドライブに連結し、版胴のみダイレクトドライブで駆動。印刷、全胴同時版交換、天地見当のバリエブル調整、インキプロファイルインフィード及び版交換作業(同時)を行うことができる。

②版胴とローラユニットはダイレクトドライブモータ駆動、ブランケットと圧胴はメインドライブ駆動。この状態では全ての洗浄作業の同時進行あるいは版交換及びブラン胴・圧胴の洗浄作業が同時進行。

すべての洗浄作業が同時に行われる場合、版胴ローラユニットは9,000回転で洗浄作業をし、ブラン胴・圧胴は低速回転で洗浄。

③全てのクラッチをオフにして、使用しないユニットの発熱を防ぐため従来であれば必要であったプロテクトグリスの塗布が不要となり、ローラ洗浄も不要。

④全てのクラッチをオンにして使用することで、ダイレクトドライブモータ駆動を停止させ、全てメインドライブでの駆動とすることも可能。

4. 享受できるメリット

クイックチェンジモジュールが標準装備された同機では、準備作業の無人化が進むとともに、準備時間も従来の約3分の1に短縮。これは、様々な準備プロセスが同時進行することにより実現したメリット。例えばブラン胴・圧胴の洗浄と全ての印刷ユニットの版交換は同時に行われるので、印刷ユニット数に関わらず、版交換に要する時間は実質上ゼロなる。

<ハイデルベルグ・ジャパン株式会社>

「**Connect for Success 次世代に引き継ぐ、成功のDNA**」をテーマに、印刷経営の全体最適を実現する最新のソリューションを紹介。

1. ソリューションツアー

定員30名のツアーを組み、ブース内を巡りながら個々の最新機器はもちろん、プリネクトによる各機器の統合管理で、全体最適を実現するシステムを提案。

まず、製造業が抱える課題「コストダウン」「高付加価値化」そして「スピードアップ」に対して、ハイデルベルグが分析し、問題解決のための俯瞰的な道筋を「問題提起シアター」で明確にした。

A. コストダウンコース

損紙と前準備時間の削減をベースに、人材活用も含めたコストダウン手法を紹介。機械単体だけでなく、工程全体を見渡し、統合することで初めて達成できるコスト削減とその効果を実感。

B. 高付加価値化コース

印刷の価値を高めることをテーマに、UV印刷、スーパーファインカラー、コールドフォイル、超光沢ニス加工をはじめ、プリプレス、プレス、ポストプレスで差別化を実現するソリューションを紹介。

C. スピードアップコース

機械およびワークスペースによる部分最適と、生産プロセスのスピードアップによる全体最適など、時間コストとムダの削減をテーマにソリューションを紹介。

2. サクセスDNAコーナー

ハイデルベルグ・ジャパンの歴史を振り返るとともに、プリントバイヤープロジェクト、保守契約、消耗品サービス、PMA、環境対応、ファイナンスといった、機械だけにとどまらない多面的なサービスをご紹介します。さらに、ハイデルベルグの最新テクノロジーを活かした成功事例も紹介。

3. 出展機器

①スピードマスターXL105-6+L UV

毎時18,000枚というスピードと、さまざまな自動化機構による生産性の高さで評価されているL105のUVコーター付6色機をご紹介します。

②スピードマスターCD74-6+LX UV+フォイルスター

UVコーターとインライン・コールドフォイル加工ユニットを装備した高付加価値機。フォイルスタ

ーは2つの印刷ユニット使用し、最初のユニットで接着剤を塗布し、2番目のユニットで実際にフォイル加工を実施。

③スピードマスターSM52-10-P アニカラー

革新的なインキング装置で、前準備段階での損紙をわずか5～10枚に削減した「アニカラー」の両面兼用機。デジタル印刷に十分対抗できる、極小ロットオフセット印刷に、さらに両面ワンパス印刷という強みが付加。

④その他の関連機器

スピードマスターSM102-10-P+カッター/スピードマスターCD74-8-P+インプレスコントロール/プリントマスターPM74-4 エコカラー/ プリントマスターPM52-2 など。